



トレーラー型店舗展開

ファンプレイス ペット美容室で

来月 蒲郡

ペットのトリミングサロン運営のファンプレイス(愛知県岡崎市)はトレーラーハウスを使った出店を始める。写真。テナント料などの固定費を圧縮できるため集客力のある商業施設への出店がしやすくなるほか、退店の際の費用を抑える効果を狙う。同タイプの第1

号店舗を9月、ラゲージテナント(同県蒲郡市)に開き、それ以降も出店の半数はトレーラー型にする計画だ。トレーラー型の1号店を開くのはラゲージテナントの商業スペース「ラゲージナ フェスティバルマーケット」にある広場の一角。トレーラー型店

舗を置くため、土地を賃借する契約を結んだ。既にトレーラーの搬入は終えており、常設の店舗として営業する。自社で購入したトレーラーのサイズは、全長約11.5m、幅は約2.5m。

店内スペースは約25平方メートルを確保し、専門業者に発注してトリミングをするための台を2台、犬を待機させるスペースを4つ用意した。通常、こうした商業施設の内部にテナントとし

て出店すると、賃料などの固定費がかさむほか、退店時には多額の原状回復費用がかかるため、集客力のある場所への出店が難しかった。トレーラー型店舗であればこうしたデメリット

を克服できるため「リスクを抑えながら出店を加速することができると(牧野浩二社長)。年内に愛知県内でもう2店舗出す予定だ。今後はトレーラーの外部販売にも乗り出す計

画。トレーラーを店舗として有効に使うノウハウや、出店に絡む不動産情報などをトレーラーの購入者に提供するなど、「コンサルティング機能で他社と差別化できる」(牧野社長)とみている。